

2025 年 6 月 13 日
BBSS 株式会社

4 月度ネット詐欺レポート ～証券系フィッシングサイトが前月比 6 倍に急増、 お米の偽販売サイトにも注意～

ネット詐欺レポートは毎月調査・収集した詐欺サイトを分析し、傾向をまとめたレポートです。

※「インターネット詐欺レポート」(sagiwall.jp) は、2025 年 4 月度より「ネット詐欺レポート」(netsagisoken.jp) として名称及びドメイン変更をいたしました。

目次：

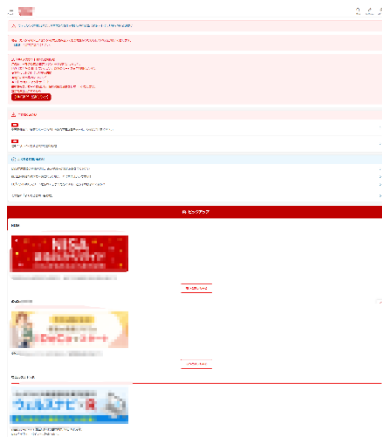
- ・証券系フィッシングサイトが急増、前月比 6 倍増
- ・お米の偽販売サイトに注意
- ・フィッシングサイトブランドランキング
- ・フィッシングサイトカテゴリ別構成比
- ・フィッシング詐欺被害防止のポイント
- ・森 達哉教授のコメント

■証券系フィッシングサイトが急増、前月比 6 倍増

証券系のフィッシングサイトが前月から 6 倍以上増加しています。金融庁※1 の調査によると 9 社の証券会社で被害が報告されており、2025 年 4 月までの合計不正取引数が 3,505 件、売却金額が約 1,612 億円、買付金額が約 1,437 億円と非常に多くの被害が確認されています。これらのフィッシングサイトはメールや SMS などではらまかれており、ID とパスワードを詐取しようとしてきます。被害防止のために、証券会社各社が提供している 2 段階認証の設定や FIDO 認証（スマホ認証）などを利用しセキュリティの強化を行うことが重要です。

※1 出典：金融庁「インターネット取引サービスへの不正アクセス・不正取引による被害が急増しています」

https://www.fsa.go.jp/ordinary/chuui/chuui_phishing.html



楽天証券のフィッシングサイト



SBI 証券のフィッシングサイト



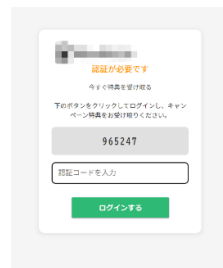
三菱UFJ・モルガンスタンレー証券のフィッシングサイト

大和証券のフィッシングサイト



野村証券のフィッシングサイト

松井証券のフィッシングサイト



GMO クリック証券のフィッシングサイト

マネックス証券のフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■お米の偽販売サイトに注意

ここ最近の米の在庫量の低下や値上がりに乗じたお米の偽販売サイトが登場しています。一般で売られている価格より 20-30%ほど安い金額で購入させようとする手口のサイトが確認されており、国民生活センターからも注意喚起が行われています。※2 これらのサイトには検索や広告などからアクセスしてしまうケースが多く、購入してしまうと認証情報やクレジットカード情報が盗まれる、商品が送られてこないといった被害にあう可能性があります。お得に購入できそうに見えても判断を急がず、サイトの情報を確認する、普段から利用しているECサイトを利用することを徹底すること等が重要です。

※2 出典：国民生活センター「お米の詐欺サイトが出没中！価格が不自然に安いなど怪しいサイトにはご注意！」

https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20250520_1.html



お米の偽販売サイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

■フィッシングサイトブランドランキング

4月度は Amazon が前月に続き 1 位となりました。構成比は前月より減少していますが、実数では増加しています。また楽天証券が 4 位に入っており、4 倍近く増加しています。ランキングには入っていませんが、野村証券、SBI 証券、マネックス証券などのフィッシングサイトが確認されています。

	2025年3月	割合	2025年4月	割合
1	Amazon	20.02%	Amazon	17.34%
2	楽天カード	6.09%	ヤマト運輸	8.05%
3	SAISON CARD	5.45%	JCB	5.91%
4	JCB	5.42%	楽天証券	5.58%
5	三井住友カード	4.85%	JAバンク	4.70%
6	Apple ID	4.25%	Apple ID	4.56%
7	国税庁	3.92%	楽天カード	4.44%
8	りそな銀行	3.26%	国税庁	3.87%
9	イオンカード	2.83%	TEPCO	3.84%
10	PayPay	2.75%	三井住友カード	3.37%

■フィッシングサイトカテゴリ別構成比

4月度は証券系のフィッシングサイトが10ポイント近く増加、実数でも6倍以上増加しています。

5月度も証券系フィッシングサイトが増加しており、注意が必要です。

	2025年3月	2025年4月	
 銀行	7.80%	9.15%	➡
 携帯キャリア	3.03%	0.38%	➡
 クラウドサービス	0.00%	0.00%	➡
 消費者金融 キャッシング	0.11%	0.00%	➡
 クレジットカード	36.89%	27.55%	➡
 ECサイト	22.95%	19.59%	➡
 ポータルサイト	0.00%	0.00%	➡
 プロバイダー	1.42%	1.27%	➡

	2025年3月	2025年4月	
 官公庁	4.84%	4.11%	
 株 / 証券	2.49%	12.10%	
 SNS	1.12%	2.88%	
 仮想通貨	0.24%	0.07%	
 Webメール	0.37%	0.02%	
 Webメール ユーザー	0.00%	0.00%	
 Webサービス	18.67%	22.73%	
その他	0.09%	0.16%	

※5 ポイント以上上昇したカテゴリは赤色の矢印になります。

※5 ポイント以上減少したカテゴリは黄色の矢印になります。

■フィッシング詐欺被害防止のポイント

1. メールや SMS で案内された URL が正規の URL か確認する
メールや SMS メッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。 または、怪しいサイトを診断する無料サービスを利用し事前に URL をチェックする
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMS に注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMS での問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。
3. ログイン ID・パスワードの使い回しを控える
複数のサービスサイトで同じログイン ID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログイン ID・パスワードが詐取された場合、他のサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログイン ID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。
4. セキュリティソフトやネット詐欺専用ソフトを導入する
犯罪者の手口は日々巧妙化しており、今まで意識してきた対策が通用しなくなる可能性があります。日々進化するネット犯罪に対抗するにはセキュリティソフトを導入することも必要です。不審なサイトにアクセスした際に注意喚起を行ってくれます。

■森 達哉教授のコメント

証券系のフィッシングサイトが急激に増加しています。リポートにありますように、これらの詐欺サイトは本物と見分けがつかないほど精巧に作られており、見た目の確認だけでは防げないケースがほとんどです。重要なのは「メールや SMS のリンクは絶対にクリックしない」という基本原則の徹底と、必ず公式アプリや公式サイトからアクセスする習慣づけです。証券会社が提供する FIDO 認証の導入も有効です。また、米不足のような社会不安に便乗する詐欺は、人々の焦りや不安心理を巧妙に突いて

おり、「通常より 2-3 割安い」といった、あってもおかしくないような微妙な条件の提示が典型的な特徴です。効果的な対策は、詐欺の可能性を「疑う習慣」と「確認する手間を惜しまない」という意識改革であり、心を動かされる情報を見たときには深呼吸をした上で、時間をかけて確認作業を行うことが、被害の防止につながることを覚えていただきたいと思います。

■監修者プロフィール

森 達哉

早稲田大学 理工学術院 教授

「令和 7 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）」受賞

NICT サイバーセキュリティ研究所 招へい専門員

<会社概要>

社名：BBSS 株式会社

所在地：東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 本多 晋弥

設立日：2006 年 1 月 17 日

株主：SB C&S 株式会社 100%

事業内容：コンシューマ向けソフトウェア、および IoT サービスの企画・開発・提供、法人向けライセンス販売

URL：<https://www.bbss.co.jp/>